

WAKA AYU

就任のご挨拶

病院長 杉山公美弥・副院長 増田 典弘

高齢社会における整形外科・脊椎外科診療 整形外科部長 茶藪 昌明

3.0 テスラ MRI 導入 放射線科



新時代に向けて

～病院統廃合は白紙へ～



病院長 杉山 公美弥

2022年4月1日付けで病院長に就任しました。この場を借りてご挨拶させていただきます。

国立病院機構宇都宮病院は、昭和4年(1929年)に療養所として開設され、結核と傷痍軍人の療養を担って来ました。その後、何回かの名称変更や統廃合を経て、現在は結核、重症心身障害、神経難病の3分野について療養所としての診療を継続しています。

平成16年(2004年)、独立行政法人化を機に、療養所としての機能に加え、地域医療を提供する国立病院機構宇都宮病院として生まれ変わりました。地域医療を担うためには、人材確保、人材育成、設備拡充など大きな課題が山積していました。これまでの職員の努力、大学病院との連携協力により、一つ一つ解決し、徐々に地域の信頼を得られるようになってきました。

令和元年(2019年)、統廃合を検討すべき病院が厚生労働省から発表され、当院も含まれていました。2021年度まで14年連続黒字決算の良好な経営状況であったため、この発表に大変驚きました。その後、県により統廃合の適否が決定されることとなり、当院の地域医療に対する貢献度が評価され、地域にとって必要な病院との結論に至り、統廃合は白紙になりました。

更に地域医療に貢献するため、昨年からは乳腺外科、泌尿器科の診療を開始しました。救急車の受け入れ件数も年々増加し、可能な限り断らずに積極的に受け入れています。また、CTおよびMR、消化器・呼吸器内視鏡など最新の医療機器へ順次更新しています。快適に受診できるよう、病院の残り半分の建替えも進めています。医療技術の向上に加え、常に患者さんの目線での対応を心掛け、ホスピタリティの向上を目指した職員教育も行っています。

大学病院と連携することで常に高い医療技術を維持し、地域に要望の多い診療科目を充実させ、患者さんが心地よく診療を受けられる環境を整備し、より地域に密着した病院を目指していきます。

よろしくお願いいたします。

略歴	1992年	福島県立医科大学 卒業
	1998年	米国ハーバード大学(ベス イスラエル ディーコネス医療センター) 博士研究員
	2005年	獨協医科大学 講師
	2012年	獨協医科大学 准教授
	2015年	獨協医科大学 教授
	2020年	獨協医科大学 特任教授(現職: 併任)
	2020年	国立病院機構 宇都宮病院 副院長

副院長就任の挨拶

～地域医療構想のなかの宇都宮病院を考える～

この4月より当院の副院長を拝命いたしました増田です。地域の医療関係者の皆様、これまでともに病院を築いてきた当院の病院関係者の皆様にはこの場を借りまして厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも一層のご指導ご懇情を賜りますようお願い申し上げます。

全国の他の機構病院がそうであるように、現在のNHO宇都宮病院は、平時の一般診療、救急医療、また重心、結核、神経難病、骨運動器疾患などの政策医療に加え、コロナ患者の診断、治療にも大きな負担がかかっており、全職員一丸となって奮闘しているところであります。思い返すと、このコロナ



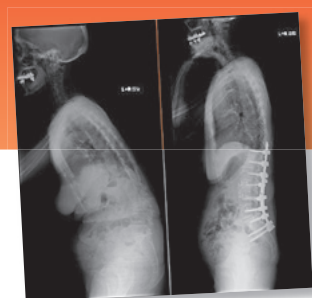
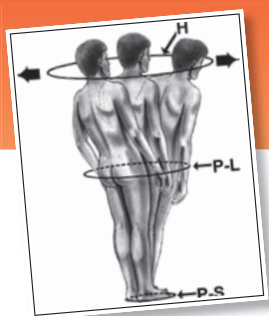
副院長 増田 典弘

騒動が始まる直前の2019年9月に、国が発表した第7次医療計画における「再編・統合などの再検証要請対象病院」に栃木県内で当院とJCHO うつのみや病院の2病院があげられました。その後の栃木県の地域医療構想会議では当院の存在意義が強く認められ、もちろんのこと現状の診療継続となったのですが、近年のコロナ診療における当院の役割が非常に大きいことから現在ではさらに県内における当院の存在意義が増してきております。

そのような現状において当院の直近の最大の目標は「全面建て替え」であります。新しい地域医療構想の中で、当院がより高度な設備を整えた病院に生まれ変わるのは必須であると言えます。しかし病院の建て替えは最終目標ではありません。日本には昔から、経営資源のリソースとして「ヒト・モノ・カネ」というフレーズがあります。近年では「ヒト・モノ・カネ・情報」が4大経営資源といわれておりますが、いずれにせよモノ・情報を動かすのは「ヒト」であり、「カネ」を生み出すのも「ヒト」であります。当院における病院経営の経営資源においても最も大切なのは「ヒト」であることは間違いありません。医師も看護師もパラメディカルも事務職員も、リクルーティングで優秀な人材のみを集めるのは現実的ではありません。「もっと優秀な新人を配置して」ではなく、私たち自らで人材を育成していく、そしてそのようなシステムを病院として構築していくことが最も大切であると考えます。

新しい地域医療構想のなかで、地域から信頼される病院を構築していく、そのためにはしっかりとした教育システムを作り上げることを私の第一の目標とすることをお伝えし、副院長就任のあいさつに代えさせていただきます。

高齢社会における整形外科・脊椎外科診療



1.はじめに

皆さん、こんにちは。私は整形外科医として30年弱、医療に従事する中で大切にしてきた言葉があります。それは、進化論で有名なダーウインの「強い者、賢い者が生き残るのではない、変化できる者が生き残るのだ」という名言です。当院は2022年4月から新体制となり、皆様に信頼される地域支援病院として日々、奮闘して変化し続けているところであります。



整形外科 部長 茶園 昌明

2.整形外科診療体制の歴史と特徴

当院の前身である国立療養所宇都宮病院の時代より40余年にわたり東京慈恵会医科大学 整形外科学講座から医師が外向し、現在では常勤医7名、非常勤医4名で診療を行っております。

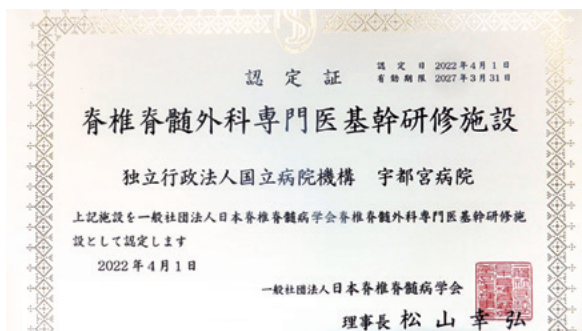
近年、整形外科は運動器科とも呼ばれ、当科では脊柱、関節、骨折等の運動器疾患に対応できる診療体制を整えております。特に脊柱に関しては日本脊椎脊髄病学会から認定された「脊椎脊髄外科指導医」と呼ばれる専門医が安全で丁寧な手術を行っております。また、専門医の認定・育成のため、日本専門医機構が定めた「脊椎脊髄外科」の研修カリキュラムの連携施設(予

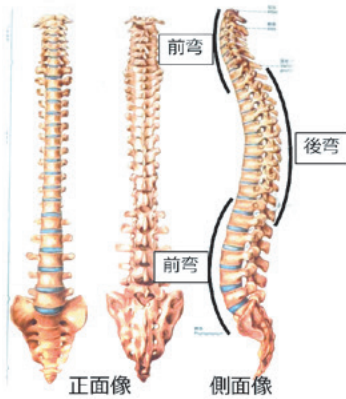
定)として学会から認定された県内4つしかない基幹研修施設の一つでもあります(左下図)。

関節疾患は田中名誉院長が中心となり、重度関節破壊例に関しては人工関節置換術(膝、股)を行い、関節温存できる場合は膝関節骨切り術等を適切に行っております。これまで国立病院機構の骨関節運動器指定病院として、毎年6月に運動器セミナーを実施してきました。私の専門は脊椎外科ですが“*No Spine, No life*”ともいうべく、私の愛してやまない背骨の話に少しばかりお付き合いください。

3.背骨は人間らしく生きるための屋台骨

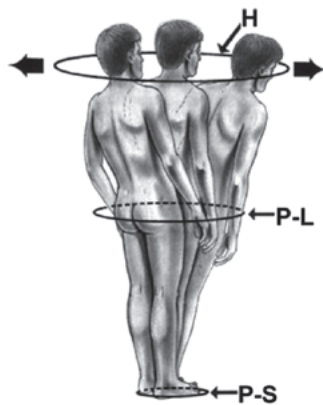
24個の椎骨が椎間板と交互に積み重なってできる背骨の柱を脊柱と呼び、骨盤(仙尾骨)と連結する構造となっております。正面から見ると真直ぐですが側面(横)から見ると頸椎は前弯、胸椎は後弯、腰椎は再び前弯とS字カーブの配列を呈し、骨盤の重心線上に頭蓋があります(右上図)。これを脊柱アライメントと呼びます。





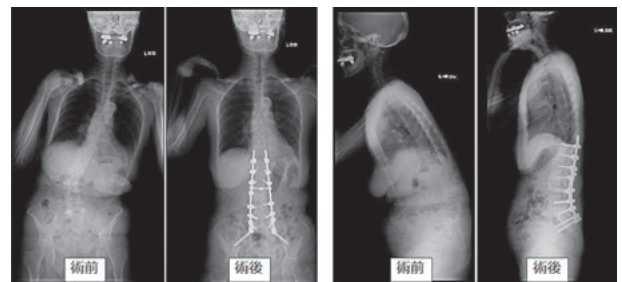
2020年の65歳以上の高齢者は人口の約3割となり、腰背部痛を訴える患者さんが急増しています。加齢による腰曲がりには「成人脊柱変形」といわれ、まだ歴史の浅い医学領域です。私は最近、

関連学会から成人脊柱変形のアライメントに関する研究でベストペーパー賞をいただきました。フランスの整形外科医 Jean Dubousset が提唱した "Cone of economy" という概念ではヒトの立位姿勢を円錐(コーン)に見立て、円錐の中心では無駄な筋力を使わずに起立できますが円錐から外れると体幹は前傾化し、立位維持には多大なエネルギーが必要となり、最終的には杖などの支えがなければ直立二足歩行は困難となります(左図)。この現象は、ゴリラが拳を丸めて歩行するナックル・ウォークと呼ばれる四足歩行に先祖返りするのと同義と言われております。このような姿勢異常に骨粗鬆症が原因の椎体骨折(圧迫骨折)を合併すれば、脊柱矢状面アライメントはさらに悪化して立位保持できず、ADLが大きく低下します。背骨は人間らしく生きるための屋台骨なのです。成人脊柱変形患者は糖尿病や慢性肺疾患、関節炎患者と比較して健康関連



QOLが有意に低下しています。軽度の腰曲がりであれば背筋訓練等のリハビリで治療可能ですが変形が強い場合は立って歩けるようになるために手術治療が必要になります(下図)。

QOLが有意に低下しています。軽度の腰曲がりであれば背筋訓練等のリハビリで治療可能ですが変形が強い場合は立って歩けるようになるために手術治療が必要になります(下図)。



4.おわりに

成人脊柱変形あるいは骨粗鬆性椎体骨折による腰背部痛でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら何でも気軽にご相談ください。患者さんならびに地域で活躍されている先生方のお力になれるようスタッフ一同、お待ち申し上げます。

田中孝昭名誉院長よりメッセージ

私は本年3月に院長を退任し、名誉院長になりました。大学から当院赴任後の約20年間、臨床研究部長、副院長、院長を務めさせていただきました。これまで近隣の先生方には大変お世話になり御礼申し上げます。仕事第一の生活でしたが、少しペースを落として家族サービスを考えております。幸い、医者になって40年、一日も休んだことはなく元気です。月曜・水曜の外来、火、水、木の手術、第1,3,5水曜の病棟回診は以前と同様に行っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

2022年4月からの新体制として外来診療表

	月		火		水		月		水	
専門	膝・股関節	整形一般	脊椎	整形一般	膝・股関節		脊椎/側弯*	整形一般	膝・股関節	整形エコー
第1週					熊谷	一森(整形一般)		朝田		
第2週						種田(整形一般)	茶園(脊椎)	石川		
第3週	田中	小牧	茶園	種田	田中	熊谷(膝・股関節)		朝田	熊谷	生田
第4週						種田(整形一般)	茶園(側弯)	石川		
第5週					熊谷	一森(整形一般)	茶園(脊椎)	朝田		

*:脊椎外来/側弯外来への初診は木曜日のみとなります。紹介状が必要です。

最新MRI装置導入

令和4年3月よりMRI装置を1.5Tから3Tの最新装置（フィリップス社 Ingenia Elition 3.0T）に更新しました。

POINT 01. 「短時間で撮影することが可能になりました」

MRI検査は得られる情報が多い分、検査時間が長くなります。今回導入した装置は、圧縮センシングという最新技術を搭載しており、これまでより最大50%の短時間で撮影することが可能になりました。

POINT 02. 「高齢者でも快適に検査を受けていただけます」

患者さんの挿入部がワイドな設計となっており、安心感が大きくなりました。患者さんの精神的な負担を大幅に軽減しており、高齢者でも快適に検査を受けていただけます。

POINT 03. 「様々な撮影の画質が向上しました」

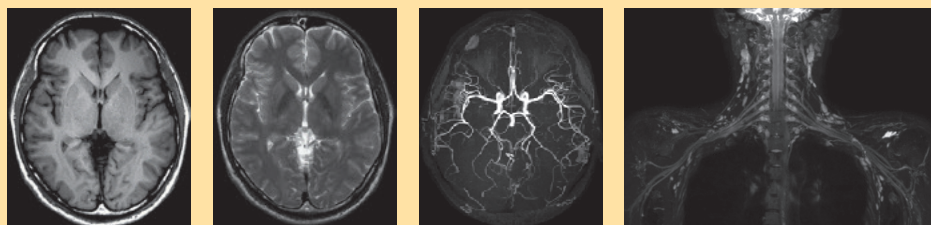
フルデジタル機構を搭載したことにより、信号収集の際に電気的なノイズの混入を抑制し、より詳細な情報を収集することができるようになりました。また、新しい傾斜磁場コイルを搭載したことにより、拡散強調画像など様々な撮影の画質が向上しました。

POINT 04. 「新しい呼吸同期技術を搭載しています」

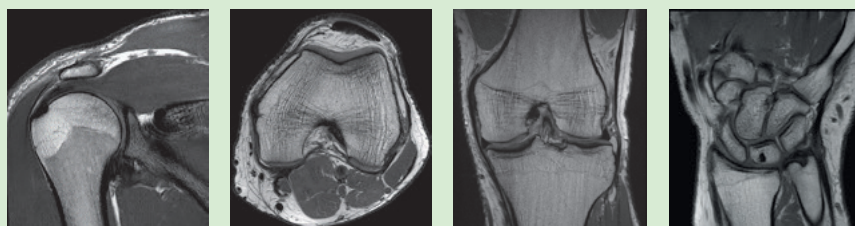
装置内の高精細カメラで患者さんの呼吸をモニタリングし、より正確な呼吸同期ができようになりました。また、AIを搭載した画像解析により、患者さんの呼吸と呼吸以外の動きを判別し、安定した呼吸データ収集を行える新しい呼吸同期技術を搭載しています。



脳神経領域 の画像



整形外科領域 の画像



腹部領域 の画像



“ 施設共同利用 受付中 ” 【お問合せは】 TEL. 028-673-9132

～連携室だより～

【連携医のご紹介】

川野クリニック

●院長● かわの まさき
川野 正樹

●診療科● 内科・消化器内科・小児科

●住所など● 住所：宇都宮市上田原町 660-6 電話：028-672-2700

●当院紹介●

宇都宮市上田原町(旧河内町)にあります川野クリニック院長の川野正樹と申します。勤務医時代は消化器内科を専攻しておりましたが現在は生活習慣病を中心として診療しており、全ての



疾患に対応すべく日々研鑽に励んでおります。しかし一開業医が行える医療は限られており自分の守備範囲外の疾患を診察した時には地区医師会や NHO 宇都宮病院の先生方と連携を取りながら診療を行わせて頂いております。この地に開業して 28 年になり、患者様方から信頼を得たのか診察の間には色々な相談を受けるようになりました。最近ではコロナ禍のペットブームもありペットの健康に関する相談も増えています。しかし研鑽に励んでいるとはいえ全てのペットへの対応は不可能なので犬と猫限定とし、その他は専門外として丁寧にお断りしている次第です。平素よりお世話になっている皆様、宜しくお願い申し上げます。

中津川循環器内科 クリニック

●院長● なかつがわ まさとし
中津川 昌利

●診療科● 循環器内科・内科・呼吸器内科・アレルギー科・小児科・消化器内科

●住所など● 住所：塩谷郡高根沢町宝積寺 2388-5 電話：028-675-7521
(ホームページ) <http://nakatsugawa-clinic.jp>

●当院紹介●

当医院は、JR 宝積寺東口に平成 15 年に開業いたしました。私は独協医科大学第一内科(現心臓血管内科)に入局後、心臓疾患・肺疾患・不整脈、救命救急などを習得すべく研鑽を積んでまい



りました。循環器疾患だけでなく、糖尿病などの生活習慣病やアレルギー疾患、甲状腺疾患の診療も行っています。皆様とのふれあいを大切にしながら、地域のホームドクターとして病気の早期発見、早期治療に努めていきたいと思っております。どんな事でもお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願い致します。

外来診療担当医表

(令和4年9月1日～)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
糖尿病・内分泌内科	午前	佐藤 稔	菊池 朋子	田中 精一	佐藤 稔	西田 舞
	午後					森(最終金曜日)
脳神経内科	午前	作田 英樹			渡邊 悠児	
	午後	作田 英樹				
神経難病外来	(午後予約制)			作田 英樹		
頭痛外来	(午後予約制)		渡邊 悠児			
消化器病センター	午前	金森 瑛	菅谷 洋子	山浦 正道	菅谷 洋子	水口 貴仁
	午後	井澤 直哉	菅谷 洋子		菅谷 洋子	
呼吸器・アレルギー内科	午前	野村 由至 杉山公美弥 小池 亮祐	梅津 貴史 勝部 乙大	勝部 乙大 安藤 雄基	小池 亮祐	野村 由至 池田 直哉
	午後	杉山公美弥			澤幡美千瑠	沼尾 利郎 池田 直哉
禁煙外来(保険適用)	(午後予約制)	杉山公美弥				沼尾 利郎
リウマチ膠原病内科	午前	杉山公美弥		長谷川杏奈		杉山公美弥 (最終金曜日は休診)
	午後	杉山公美弥		小松 紗良		
総合診療科	午前			志水 太郎 (第3金曜日の週)	南 建輔	志水太郎(第2・4週)
	午後			志水 太郎 (第3金曜日の週)		
小児科	午後		影山さち子 [予約制]	迫 恭子 [予約制]	迫 恭子 [予約制] 子供療育相談ルーム [予約制](第2・4週)	
外科	午前	増田 典弘 河野 貴博	小川 敦 正田 貴大 山口 悟	滝田 純子 小川 敦	増田 典弘 滝田 純子	滝田 純子 増田 典弘 中島政信(午後)
	午後					中島 崇裕 伊藤 淳
呼吸器外科	午前					中島 崇裕
乳腺外科	午後					伊藤 淳
整形外科	1 診	田中 孝昭 (関節外科)	茶藪 昌明 (脊椎) (予約のみ)	熊谷吉夫(第1・5週) 田中孝昭(第2・3・4週) (関節外科)	茶藪昌明(第1・2・3・5週) (脊椎) (初診は紹介患者のみ)	熊谷 吉夫 (関節外科)
	2 診	小牧 宏和 (整形一般)	種田 雅仁 (整形一般)	一森紫衣奈(第1・5週) 種田雅仁(第2・4週) (一般外科) 熊谷吉夫(第3週) (関節外科)	朝田淳史(第1・3・5週) 石川義久(第2・4週) (整形一般)	生田 匠 (整形工コー)
リウマチ科 (整形外科1診)			熊谷吉夫(第1・5週) 田中孝昭(第2・3・4週)			
リハビリテーション科			茶藪 昌明	茶藪 昌明		熊谷 吉夫
装具外来		田中 孝昭				熊谷 吉夫
側弯症外来	午前				茶藪昌明(第4週)	
泌尿器科	午前			木島 敏樹		西原 大策
	午後			木島 敏樹		西原 大策
障害者歯科						石川 博之

外来受診案内

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30～11:00 迄です。緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通)
担当(ソーシャルワーカー)：畑野・吉田・市村・平田・福富(内線 133)・永山

- 下記は入院患者さんを中心として診療しております。

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科	午前		伊藤 致	田所 寿剛	井上 弘貴	鈴木立二郎
	午後	渡邊 諒	伊藤 致	田所 寿剛		
歯科		渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
眼科	午後					松原 忠之
皮膚科	午後			神賀満裕菜		
耳鼻咽喉科	午後	永島 祐美				

- 休診は土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)です。
- 都合により臨時休診になる診療科もありますので、ご確認のうえ、ご来院ください。



独立行政法人(NHO)
国立病院機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160

TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148

<https://utsunomiya.hosp.go.jp>